

## 第11回 あきる野市総合計画審議会 議事録

日時：令和4年12月21日（水）午後3時～午後4時20分

場所：あきる野市役所本庁舎 5階 503会議室

出席者：会 長 菊地 俊夫	副会長 横倉 三郎
委 員 田野倉 美保	委 員 甲野 富和
委 員 小山 正弘	委 員 齋藤 孝
委 員 安永 勝昭	委 員 浦野 知昭
委 員 松村 博文	委 員 倉田 克治
委 員 野島 健也	委 員 吉田 榮久夫
委 員 梶 敏男	委 員 多田 恵子
委 員 江添 真司	委 員 吉田 正幸

（書面方式による参加：山崎勇委員、坂本勇委員、島香裕一委員、伊東満子委員、近藤怜美委員、下村智委員、町田修二委員）

### 1 開会

（事務局）

ただいまから、第11回あきる野市総合計画審議会を開催する。

令和4年3月に策定した「第2次あきる野市総合計画」について、総合計画審議会を通じ、多くの貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

また、皆様には、令和4年度以降も「あきる野市総合計画審議会」委員を快く受けていただき、また、お忙しい中、会議にご出席いただき、感謝申し上げます。

なお、本日の会議につきましては、坂本様、島香様、伊東様、近藤様、下村様、町田様からご欠席の連絡をいただいている。

なお、本日は会議中に写真を撮影させていただくので、ご了承ください。

### 2 委嘱状交付

【中嶋市長より各委員へ委嘱書を交付】

### 3 委員紹介

【配布した名簿を用いて委員を紹介】

### 4 会長及び副会長選任

（事務局）

審議会規則第5条第1項の規定により、委員の中から互選することが定められているが、事務局案を示し、互選とさせていただきたいが、いかがか。

【「異議なし」と声あり】

(事務局)

それでは、事務局案として、昨年度から引き続き、東京都立大学の菊地委員に会長を、また、明星大学の横倉委員を副会長にお願いしたいと思うが、いかがか。

【「異議なし」と声あり】

(事務局)

それでは、互選により、菊地委員が会長に、横倉委員が副会長に就任いただくことが決定した。

## 5 市長挨拶

(中嶋市長)

本日は、お忙しい中、第11回あきる野市総合計画審議会にお集まりいただき、感謝申し上げます。

この度は、総合計画審議会委員の就任をご快諾いただき、重ねて御礼申し上げます。

令和4年度以降の総合計画審議会は、第2次総合計画基本計画の各分野に設けた成果目標や各施策について、施策の進捗管理を毎年度行い、内容を審議会委員の皆様にご審議いただくものである。

市が目指すべき将来都市像である「豊かな自然と人々の絆に包まれ 人やまち、文化を育む 安全・安心なまちあきる野」の実現に向けたまちづくりを進めるため、審議会委員の皆様の様々な見地からご審議いただき、第2次総合計画に掲げる施策を推進したいと考えているので、ご協力願いたい。

## 6 会長及び副会長挨拶

(菊地会長)

引き続き会長を務めさせていただく、東京都立大学の菊地である。よろしく願います。今年の3月までこの計画を作ってもらったが、周りの評判はどうか。当大学の専門家に計画を見てもらったところ、非常に出来が良いと評価をしていただいた。

計画という器を作ったのは良いが、器だけ立派ではいけない。そこに魂を入れなくてはならない。魂を入れるという作業は、これから総合計画審議会で行う進捗管理になる。

今までと同様に今後も忌憚のない意見をいただき、良い魂を入れていくようにしたいと思うので、よろしく願います。

(横倉副会長)

引き続き副会長を務めさせていただく、明星大学の横倉である。よろしく願います。私の専門は工学系であり、統計なども学生に教えている。総合計画審議会では施策の評価を行っていく際に力になれるかと思う。また皆さんの力をお借りし、より良い総合計画の進捗管理を行っていければと思うので、よろしく願います。

## 7 議題等

### (1) 第2次あきる野市総合計画の進捗管理について

【資料2に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

只今の説明に対して、何か質問等はあるか。進捗管理の目的と方法とスケジュールの概要が説明されたが、一番大事なのは「2進捗管理の方法」であり、これから皆様から忌憚のない意見をいただかなくてはならないところになるかと思う。

「2進捗管理の方法」は非常に大事な項目になるので、気づいた点があったら意見を出してほしい。

ここでの意見で進捗管理の方向性が決まるので、是非意見をお願いしたい。また、盛り込まれていない内容についても何かあれば意見を出してほしい。

## (2) 第2次あきる野市総合計画令和4年度進捗管理(案)

【資料3-1・3-2・3-3・3-4に沿って、事務局より説明した。】

(菊地会長)

只今の説明に対して、何か質問等はあるか。

具体的な進捗管理の仕方として、資料3-2・3-3・3-4という進捗管理シートがあるが、シートに評価を書いていく。どういう項目について評価するのかということが記載されている。皆さんに検討してほしいのは、進捗管理の項目、進捗管理の仕方というところを見てもらえればと思う。

(委員)

3点お聞きしたい。総合計画基本計画第4部の国土強靱化地域計画の進捗管理はどのようにして行うのか。資料3-2は、進捗管理評価の自己評価基準についてSからZまでであるが、その中でBは目標値の半分程度、Cは目標値の半分程度以下となっているが、分け方をどこまで細分化して行う必要があるか。また、Xの未着手とYの中止の違いがよくわからない。資料3-4では、記載イメージとして、総合計画審議会の意見欄に専門的な内容が書かれているが、審議会という全体の会で、1つの施策について専門的な内容を意見として出すことができるか不安な面がある。どのような形で審議会の意見を取りまとめていくのか。自分の専門分野の内容を担当の方に見てもらおうなど、どのような形で審議会としての意見として結論を出すか教えてほしい。

(事務局)

1点目の国土強靱化地域計画の進捗管理についてだが、総合計画の196頁から199頁に示されているとおり、基本計画の各施策と国土強靱化の取組が突合するようになっている。このことから、基本計画の進捗管理をすることで国土強靱化地域計画の進捗もある程度把握できるというように捉えている。各課から提出された基本計画各施策の進捗状況をみながら、国土強靱化についてもどの程度の進捗状況かを捉えていく。その一方で、国土強靱化地域計画は市で初めて策定した計画でもあり、かなり手探りな状況にはなるかと思う。

2点目の自己評価だが、BとCは両方とも改善は必要になるものであるが、Bについては目標値は達成できないが、ある程度の手直しでどうにかなるもの。Cについては抜本的に見直す必要があるもの。このような区別をするために分けさせていただいた。XとYについては、市の施策では準備が整ってから進めるというものもあり、例えば、令和4年度・5年度は着手できないが、6年度から始めるもの。そのような場合はXを選択する。Yの中止については何らかの理由でこの施策に取り組むことがなくなったという場合に選択するものである。

3点目の資料3-4に記載のある総合計画審議会の意見でどこまで専門的な内容を出すかというところであるが、委員の皆様には専門分野・得意分野を中心にご意見をいただければと思う。また、専門以外の部分も疑問に思うところなどご意見をいただければと思う。いただいたご意見については事務局でまとめさせてもらう。すべての項目について意見を出す必要はないということでご理解いただければと思う。

(委員)

基本計画の施策である公園緑地の適正管理についてだが、公園を廃止するか否かというニュースが最近あったが、公園が廃止にならないよう、市の公園の管理についてのスタンスをお伺いしたい。

(事務局)

法的に整備する公園と民間の方の協力により保たれている公園がある。いずれの公園にしても市民の憩いの場であることは認識しており、公園の適正管理を日々検討しているところである。公園緑地の適正管理については、公園の機能に着目しながら、市民の皆様には有益な公園を作っていくために行うものである。

遊具等の維持管理についても現在検討を行っているところであり、このような観点からも市民の皆様が安全に利用できる公園づくりを進めていきたいと考えている。

(菊地会長)

資料3-2は明確な数値目標があり、数値を達成しているかどうか進捗状況を評価していくもの。資料3-3は数値目標ではなく、文章で今年度の取組を評価するものである。資料3-3の方が主観的な評価になる可能性もある。進捗管理を両方やるか片方とするかという判断もあるが、両方やるという認識で良いか。

(事務局)

両方の進捗管理シートで進めていきたいと考えている。

(菊地会長)

資料3-3の進捗管理は主観的な評価になる可能性もあるため、その点について皆様のご意見をお伺いしたい。

(委員)

4点お聞きしたい。1点目、進捗管理シートについて、行政の計画期間は10年というものが多いが、初めは進捗管理として行っていたものが、7~8年経つと業務評価に変わってきてしまうこともある。SからZの評価基準の中で早く目標に達したものはF i n i s hでFにしておくという方法もある。目標値が下がった場合に、そのような表示にして回答するという仕組みも一つの方法かと思う。

2点目、資料3-3のシートだが、近年ナラ枯れが問題になっている中、緊急な措置が必要になった場合に進捗管理の項目を増やして対応するなど何か考えがあればお伺いしたい。

3点目、地域振興の部分であるが、東京都で道の駅は一つだけであり、八王子にあるが、地域振興の在り方について具体的なものがあればお聞きしたい。

4点目、最近東京都において太陽光パネル設置の条例ができたところである。国や都の条例改正は自治体に大きく関わってくることになるが、10年という計画期間の中で対応について入れていくのかどうかをお伺いしたい。

(事務局)

1点目の施策が完了した場合の取扱いであるが、委員の皆様には異論がなければ1つのアイデアとして採用させていただければと思う。

2点目と4点目について、総合計画の中に記載されていない取組を行わなければならない事態が生じた場合の取扱いをどうするのかということかと思う。市政運営全体を担う総合計画という性質上、市民の皆様には影響があるものについては進捗管理とは別にはなると思うが、新たな課題や対応の進捗などを審議会に報告する必要があると認識している。

3点目の地域振興の話だが、市の検討経過もあるが、設置に至らなかった理由の一つとして類似施設の存在等がある。それ以外の地域振興だが、人口減少対策として、市の魅力を高める取組を色々と検討しているところである。

(委員)

総合計画では、待機児童ゼロを目指していくということだが、令和2年度で既に2人となっており、これから少子化が進んでいく中で、待機児童ゼロという目標は指標になり得るのか考える必要があるかと思う。そのような事業は他にもあるかと思うので、指標の捉え方の検討も行ってもらいたい。また、利用者数など数で出している指標について、人口減少により母数が減っていくので、率で表した方が望ましいものもあるかと思う。

定量的と定性的な指標がある中で、大事なものは定性的な指標の中にあたりする。定性的な評価も大事であるし、結果が出てない場合、結果に向けてのプロセスを見える化することも大事である。その辺りも事務局含めて検討いただければと思う。

10年間という計画期間の中で進捗管理をしていくが、来年度こども家庭庁ができ、子ども政策は変化をしていくことが予想される。今後他の分野でも同様のことが起こりうるので、柔軟に対応できるようにしておくべきである。

(事務局)

総合計画のとりまとめ作業を3年かけて行った中で、最初の1年目の検討と最後のとりまとめの際に内容がずれてきているということはあった。先ほど他の委員からも指摘があったとおり、配慮させてもらえればと思う。

現在数値で示している指標で母数が減ってきた場合であるが、母数に対して実際何人なのかという見せ方については、柔軟に対応していきたいと思う。

プロセスについては、評価をする上で一番難しい所かと思う。各課から提出された内容について客観的に内容がわからないものは、事務局で取りまとめる際に精査をし、委員の皆様にお見せできればと思う。

(委員)

施策の中で道路の整備の推進があるが、具体的な方法はどのように行うのか。また、道路の種類は都市計画道路だけでなくその他の道路もある中で道路の整備箇所数等、市民へ施策の進捗をどのように知らせていくのかということもお伺いしたい。

(事務局)

成果目標については、各施策ごとに設定しておらず、施策を総合的に進めていくことで成果目標を達成し、全ての施策が成果目標につながるということもできる。

このように、成果目標に直接つながる施策とそうでない施策がある中で、成果目標と施策のつながりをどう関連付けるかというのは悩んでいるところである。

こうした背景の中で、道路の整備については、指標として直結してくるのは都市計画道路の整備率という成果目標かと思う。しかし、道路の整備は都市計画道路だけで良いのかという意見もあると思う。また、市道や橋りょうの取扱はどうするのか。その辺りは、各課から提出された進捗管理シートを基に示し方を考えたいと思う。続いて、施策の進捗状況の市民の皆様への周知の仕方であるが、先ほど担当から説明させていただいたとおり、議会への報告はさせていただく予定であるが、市民の皆様

様への周知方法についてはまだ検討が及んでいないので、この点については課題として受け止めさせていただきます。

(菊地会長)

資料3-3のシートは、具体的な内容が不足しているという問題もあるので、委員の指摘も踏まえ、内容を増やすなどの対応も必要になるかと思う。

評価指標が定性的なデータであるため、どのように評価していくかこれから考えなければいけないと思う。色々な自治体の評価の仕方を見てると○×の評価であったり、5段階評価であったり色々なやり方があるかと思う。文章を読ませるだけでなく、見せるという方法もある。

(委員)

道路・橋りょうの維持管理の施策があるが、網代橋の復旧についてはどのように考えているか。

また、汚水処理の指標であるが、養沢には下水道施設がない。そのような中でピンポイントで処理するためにどのような計画をしたら良いか。具体的な内容を教えていただきたい。

(事務局)

それぞれの具体的な施策になるので、詳細な内容は分かりかねる部分もあるが、網代橋の件については、諸々の条件を整えるのに苦労しているところである。行政として重要な課題として認識しているということはお伝えできればと思う。

続いて、養沢地区の汚水処理の件だが、これについても市として重要な課題である。

今までは汚水を下水道で処理するということが基本であったが、財政負担など総合的に考えて、このまま下水道で行くのか、合併処理浄化槽にするのか市として方向性を考えているところである。

(委員)

先ほど別の委員から道の駅の話があったが、国道に道の駅ができるという認識である。あきる野市が通っている国道は411号線であるが、敷地等の問題から、建てることは難しいと感じているがどうか。

(事務局)

かつて市が設置を検討した経緯はあるが、結果的に設置には至らなかった状況である。

(委員)

進捗管理シートについてだが、計画における評価は難しいものであり、できれば定量的な指標で進捗を行いたいと考えるが、定性的な指標も入れ2種類の方法で管理していくということで良いと思う。2点質問だが、進捗管理については毎年行うということで良いか。また、PDCAサイクルで評価していくということだが、進捗が大きくずれたりした場合や方法を変えなければいけない社会状況になった場合、改善の手続きはどのように行っていくか伺いたい。

(事務局)

総合計画の施策では、施策の方向性を定めている中で、その点が大きく変わるということは考えにくいですが、社会経済情勢の変化により対応が困難な事例も出てくると考えられる。その場合には、進捗管理シートの中に変更理由を記載するなどの対応をしたいと考えている。基本計画は5年間で見直しであり、急激な変化があった場合は計画の途中でも見直すなど、新たな計画の内容に組み込む手続きを行い、内容が合った計画にしていきたいと考えている。

(委員)

先ほど別の委員からナラ枯れの話もあったが、喫緊の課題だと認識している。

多摩地域でも被害が出ている。近隣の自治体から相談もあり、総合計画の中に内容を盛り込めればお願いしたいと考えている。人家や施設に影響も出ているところであり、是非計画の中に位置づけ、調査を行い、対応を検討してもらいたい。また、市町村ごとに被害があるので、是非連携して施策を作ってもらえるとありがたい。

(菊地会長)

他の委員からも指摘があったが、喫緊の課題であるので、総合計画には含まれていないが重要な施策として取り上げるべきかと思うがどうか。

(事務局)

ナラ枯れの件は、環境部門からも話は聞いており、市でも対応を検討しているところである。総合計画内では具体的な位置づけはないと先ほど申し上げたが、広く捉えると森林を守る取組の一つになるかと思うので、計画書120頁にある生物多様性の保全の推進の中の自然環境の保全の推進に絡めながら、進捗管理シートの中で記載できるよう工夫をさせていただければと思う。

(委員)

公園にもナラの木があるので内容が全て網羅できていない所もあるかと思うので、整理をしていただければと思う。

(事務局)

いただいたご意見を基に配慮できたらと思う。また、近隣自治体との連携については所管部署にお伝えさせていただき、対応の検討をしたいと思う。

(委員)

資料3-2の成果目標の中で放課後子ども教室について、10校達成した場合、F i n i s hにして良いかという点に疑問がある。学校ごとに実施日数や内容なども異なっているため、子どもたちの要望まで踏まえ、内容を吟味していくべき項目もいくつかあると感じた。

地域子ども育成リーダー数については、登録者数ではなく実際の活動者数や活動内容の方が重要だと思うので、内容についてももう少し吟味するべきだと感じた。

(事務局)

施策の中には目標を達成すれば完了にして良いものと数値上の目標は達成したが質を高める取組を区別する必要があると思う。例えば指標が計画の策定であれば策定したらF i n i s hで良いと思う。その一方で、子どもに関する取組であったり、施策の性格も踏まえて判断する必要があるものについては、目標の達成として捉えつつ、取組内容についても合わせて記載してもらいたいと思う。

(菊地会長)

たくさんの貴重な意見を出していただき感謝する。定量的な評価と定性的な評価の2種類で進捗管理を行っていくことに異議は無いということで良いと思う。先ほど委員からも意見があったとおり、数値のデータだけでは不十分な場合があるので、定性的なデータで質を見ていきたいと思う。

委員からいただいた意見を基に進捗管理シートの案を改めて事務局に作成してもらい、委員の皆様には内容を確認していただければと思う。

## 8 その他

(菊地会長)

次に8の「その他」だが、何かあるか。

(事務局)

進捗管理の方法について方向性としてはご理解いただいたが、まだ改善する点があるので、事務局にて検討し、改善案を改めてお示しさせていただく。

次回、第12回の審議会は、令和4年度の施策の進捗管理が議題となる。来年の夏頃に開催を予定している。会議では、第2次総合計画における令和4年度の施策の進捗管理についてご審議いただく予定となるので、よろしく願います。